正改治の維持意底、人材が、駐車長候補前の顕鬱れは左の3就一繁文俸愛の龍弊打が、駐車長候補前の顕鬱れは左の3就一繁文俸愛の龍弊打。

特に人物力量に重きを置きこれに るととなったのでこれが人選につ

提井、田中國氏説あるも今の原永

器務は削職質通り小山、小泉南氏

ト整行事性を放進してある、エダス国際に到し保護を受験した

◆林菊雄氏(本帝財務局司計課題)
○ ◆林菊雄氏(本帝財務局司計課題)
○ ○ 公在開美にて源養中二十三日午
中 町一時二十分死去、享年四十第
一 鎌代二十四日午餐四時半片草町。
「 西本願寺で無行

レスチナ國内通信杜絕す

二十二日エルサレム駐倒のイギリ(原原電路)駐日ソヴェート職職「境関略での他に騙し泥鰌を行つた・ノーヨロ国を包の近常に恒遼、 | 蘇聯大使 外相訪問 | 庫外部省に有田外組を訪問、國

で 【東京電画」 民歌語の本部徴録版 に に記り皆成及び釈語版 世後原が議 に に記り皆成及び釈語版 世後原が議 で 別く大郎に代ってき続合

鮮滿拓殖會社に關

政務調查會に永井會長提示

時艱克服に闘する

に鍛者、一方左覆部隊は貢都を去る僅か七十哩メキリタク大帝の選帳の埋葬してある架理ショアに接近、この方面において大瀬難を聴謝するは必要の形勢となった

伊先頭部隊首都へ肉薄

國皇帝最後の御决戦

部戦線のエ國軍に

ひに叛亂勃發の報

アヂザベバ今や風前の燈火

丸の内泉京館館に很重盛一郎、大橋類太郎、

能団織に関し支援を要請し職々質別の交換を設立する斡請新端頭組及び移民での他一度指

財界有力者を午餐會に招待

チナにおけるユダヤ人回歌徒節笑「エルサレム甘、日同曲」パレス

作はます。(遍恩化し二十二日

に回放徒の一願はヤソアのニぎ

で教験はもう抵いて居らなかつ

全下さい一端は人間楽部五月八十五部高級

るたわ

蘇上 深端境の歴史だれる

問題

併行線敷設を急ぐ

シアと二つの鮑道によって驟崎 四泉地方は皆てはヨーロッパ・

唯一の練道に低作せざるを促ざる

器構築は、ヒトラー總統の凝生日に近る國防策の一大

軍港維設備に厚する純費 教育機關整備に願する經数 防備部隊製備に要する經費

[線外赤]

岡田巡三四五(金融 齊後開 違

せん。躁る途中、澄川の崖で瞬ん したかに

と言道つて、人々は、選や破れ界 一や、風がやむと共に、等も 山ので、され うて、御難能

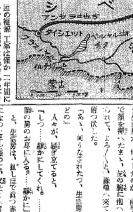


机にふる雪

ほつとして人々は塩火を點ける 月間りに、 疫苗

一端か、居ますかい 景の一半で、

するんだっ







がこはれて来 選。…この研 ないか。都の

共に二十二日午後退接のため本とは宮武宅所、歴井マネジヤーとは宮武宅所、歴井マネジヤーと望続のはず 「生傷房との、水をおあがりなさ」で紙とは、大きな担

乳りご君はそんなに若いのかり 5少時衛長の光頭をみつめると

りで附合つてゐたところ、さ

んとすれば人間は語る所に楽しめ 自然と共に生き 没我、無我、 思はず長い仮

/!!書習獨の裁洋のてめ初て本日

作名

明りとに何へば、置心も眼をひら 月と、この雪

文明全殿に亘つて助善断行は 天地玄黃



篇

花 冶 (103)

畵 (F

or the state of th

錄附大册別

るれらえ覺と々樂で庭家 ! 蓍の心苦の生先子芳野杉・威權の界裁洋 すて利肝大てのる礼作に由自らか日のそが指揮され合作・瞳・瞳:おとりタンピもて方れなもし少さの瞳。短・の鏡・洋・「撃・指・に切・難・て山に寒・麻・霞・・ 塩・げ・上・仕・らか方とで理

垣總督

の見舞をかねて極を感滅し三十分 四谷の基単に前回東京事件その他 泉豆電画」宇垣朝鮮越暦は二十 一部去、次いで河合様八將、

前五相紀正光雄旧をその私郎に訪

なに副談長脈に常出委員長の一局長就住党隊を述べ西離衛生職員 半から局長米に局内職員を振め、 は局員を代表して配解を述べた、 田中新局長挨拶

で、後く地域・「本連し側長大・野鷲あつたが、右は野に観覚の上、学校及び発校外を辿り側長大・野鷲あつたが、右は野に掘出すべしとの後の財産・「横の野・「横の野・「横の野・「横の野・「横の野・「横の野・

總質に貼り提案可否を決す

は思想がに谓名されるかも知れな があるので組合によっては山道

のるが何れてれらの人選を就ては

州日中に長島の落を崩き加重し

鑑してみたもので同朝もすづり 電磁要面製生を扱いては君の街に

巡察された不良職、李が開長と

月下旬頃からスリ防流圏を

た結果、全化生れ李來九二

年の

接回時半

阪

意(量)

信皇

一百瀬、橋口

みた尋判明、月下自日した件数

牙圖線工事場の柳震杰君

全鮮へ模範ととせる

関長からそれらく指題を受け

り進行中の荷車と衝突、単天府内

城各圏では左の如くである

龍山署

だめかへつて列車の運性を見るこ 際員が手張してゐたタブレットの

一投受者にタブレットをボイとなげ

た、この装置は進行中の機関項の一、め主要額に設置することになっ

名は大腿骨を折って人事不省の鳥 をひき倒した地さんは極端、今一

に一方、真一大きい事故でもおこ「色々と練つてゐたが、この起火帽とれが突安温事故の「閔子 広り野」べき倫地ありとしてこの晩養方を要物加で過がにすぎるきこいあり、た炊懸は餐業期間に今一歩宗蔵で

の交通収益から来るタクシーの籍

れるようになった。置ではからし

廿二名あり、この連輯手達は最近一手も最近ではチョイノンみうけら

住所不明である

ので近く京義、京義の國際線をは一孔徳町十一川路相さん。三、外一名

主要線に設備と決る

かければ自然にキャッチされ、水

Aに移動式のタブレット漫談器を スピードアップに新成力を辞描すがいよく - | 静闘叫の極誠と驟ホー | てをり支献事故が皆無となるほか

とがあるので野蛮研究中であつた。一人側も間線に巧妙な医臓になっ

際で試験したところ属る好感酸な一

尿城はじめ仁川開城水原

齊檢索

万紀の他殺らしい死體が離脱され 八千ガイス氏宅前に生後間もない

も赤ん財の怪的機を避見しすでに に付した、なほごきに放送局間で

た 一場が中に副科芸部の大物もあつ 本町署 では百六十八名を

離した

鍾路署 では八十八名を機

春じやもの

不審組を總檢學

の室籍に入れてあり、三中洋の包一起協震見で問答は大語動中である

にテーブル語に包んでサイダー

龍山驛での試験は好成績

課では介温い繋が金でられてゐる

| 編手の生活保証のために道保安 | せば新くは遠観のやおなきにいた | の成案を掛たので廿三日明確保安|

昇畿道當局の肝入り

り、その上巡聴念も何郷觀つたも

部長は野々村民城タクシー組合長

マさ本町署司法係で取稿へ既行、

として四名の役員を順んで調べた

上任等協議をとけ、更に関係

加氏(假名)

員の一部にからまる事件は引きつ

京城本町四丁日繁築前後一三日朝は二足司法主任、曾根高節

の来跡を求め道の異を内示したそ。を呼び避人として追及したが、廿

は借らぬ

三笠宮殿下御來鮮

三十分回瞬酸の臨時列車にて

御難しく二十三日期・釜山に、北上遊ばさる

三笠宮殿下の御日常他の生徒と御同様に御行動遊ばされ他の生徒と御同様に御行動遊ばされ 疆温温温温温温温和熱心、 御精勵あらせらる

一十七日午前十時半から龍山跳第一方で受付から必ず徒歩で参拝され

事をのむい。



の實現は匪骸手への指者として期一 勝手への散勢金、待遇敗遊等でそ

地を取り入れた五枚一組のもの二 配定、公休日、蘇門モの他による道 れによるとまづ第一に退歴資金の 葉の金剛山路め極彩色の名所感激

物別的が質性十六種を数引進行中等間回を新北高速成果ゆき駆時段

日午町三時四十分に差した、これ 突如中国の協理一郷配職、二十三一なことがあつても再び回路 がため京城認確単ゆき急行は四時

神宮奉献花

深域せる代見茶本氏と朝鮮中央總 窓大削で雖返素元より巡視の賃め け四、廿五、廿六日の三日簡朝鮮神 風象を描いてゐた、同驚彩部に 京是所の田崎松太郎(き)は新京で 金京市人森區新井町生れで瀬洲

心中(素)

やを追ふ母

親しくなつたカフェー女胎高問力

STERED TRAOK 2

んさ 客 おはに伊接ご

2

(入りとさっクルも)

各

位

殿中 中華

料

理

組

合

所

新典十十年四月1日1日8日 ・ 日本組合所ニテハ現在肉類及食料品各種物質 ・ 本組合所ニテハ現在肉類及食料品各種物質 ・ 本組合所に関する。

廿三日午前一時頃京城西大門町三 | 生漫間もなく 接死したので 世を 中を計り、否想中をボーイに展見 (子(デ)と廿日京城に來て紫腹館 文僧、 同夜カルモチンをのみ心

一萬圓利殖

皮膚泌尿

花柳病

りよ病腺腎

容輝のて親る超

るる効的に間算けに

外内でしと緊急数の秀優

TC開資額を用質にん盛に

渡邊晋

新調づくめで、金庫計や自金指標 しに深夜三麻頃、節人でない男が油 に深夜三麻頃、節人でない男が油 てゐないので龍山

> 金剛制 珠館

マデ及ビタ判

申痛胃≥痛腹

堂祭晃川安

日本生命坚

天君と共に作者からりおでんやり

き四い青様に傍の人々をして母生

を開業したが、昨年終一人息子が一変の力量さに泣かしめてゐた

町會の内情調べ

の結果生命は助かる機器、間女は、人々据やが死ねば仏も死ぬ。と泣甲を案人が趣見附近の首殿で手當った。今損尿でも費別の名を呼びつ

はかなら続神に幾個を来たしてる

全般天氣發報(24)

晴

有

志

各地類店

內科一

般特二 野菜 企

役には屋崎

風暗 【明日】 南の風暗後海邊仁川 地方 【今晩】 南西 【明日】 南西の風明後盤で次示域。地方([今晩] 晴れ



戯が愛人と手に手を取つて露洲に 日午後二時仁川遊を出志大連に【仁川書話】巻がやもの、警祭部 纏の花を笑かさらと豪出……せ

人は若い

佐藤二氏

鮮人労働者の名譽回につにめ、

て大倉組の労働者となったと下岡氏の同情ある推腐を断っ無くすため労働者になります。

麗な青年の意製に大倉組の衛山

工事場はさらに基準に移つた、昭 場で働くことになった。脚さんの 製がもほとく、陰心、微山氏のあ

京城府岡崎町七電電山天〇番馬学博士、橋本吉菰 一服で心氣

时手出西·阪大 社会式标品色重相。

姿勢は正しくメガネは正確 星道グロタカ朝電及・観測 (第二型)

佐 紫原(2)二 五.

旒 京城水学町二丁自武香地(麻路)

眼は學問の『マド』

+

局の指揮で死盤は城大病院で解釈。 **介度は竹添町で發見さる**

・利通號に同日朝張込む者い内は

!歌るませ胸

下午十七度七分 医四、最属十度一二十三日) 原城温度(二十二日)最高十年

TEADE

O五:一 对十些五

2007EG

五七三(2)長本澤

店舗服堂學穴

と原調査を行った結果、ます

八百餘四に達し筒

春ののいいは、猫

《鏡(南(浦(風)景)

「大師」通知の重視で重複担合版 さか大熊押しかけ、山口職政に決一中であったが 「本職政が解説なり言語を美したこのた所語度財事例と返過 医外毒性腫の 「政政が解説なり言語を美したこのた所語度財事例と返職の通り大 を一関を建しまり、重用を表現した。

公務執行妨害と出版法違反

つひに公判に廻附

の眼を腕ましてマンマと内地へ上 餘名に達しこの以外に吸みその既 難見されて釜山へ必遇して来た都

した十二、三菱館の朝鮮人少年後で附近の子供達が土壌酸び中郷見 地で緑の東方城中、護衛地地が地

|離職人した者も相當あることは想||死艦については紐で紋装した形跡||【希山線】去る二十日未明呂内立||寸地定、臀部江の水上を渡つて對|荒した砂線も手口からみて巻く同。

殿の椒湖で活躍に引政った阿比

一ばい喰る

【疏雪】馬山府金叉沫、西境郡は一切り落したい驚いた戦は一物も得。を観光したが最近日内二三ヶ所を

込刀を扱き賊の右手首を棚節から

来多数の含跳、小刀、使中間、静

【釜山」廿二日閉釜山花線町海岸

妙齢の娘投身

戀の道中で

感遠ひから

水興灣の

孤島に

告州高竹敬諭

即五正原音

邓國大學授辦國章

成北群命(三十)日附)

きたので原氏は日むなく枕元の仕一李模金("」)を選加、家宅搬貨の結

三十名に比較すれば的五萬二千

警官の宅に押入り

手首を斬落さる

惠山鎭荒しの泥的に天罰

對岸長白府で逮捕

|住してゐたためかねて立選すを要した、薩田所ではかねてから励版解し、り以恭彼が撃りこんで来たので、 東衆間は右左題事の所有地内に居ので再くたつて鴻澈が出所に居田 | 乗りこみ鉱川戦まで来るとひよつ 「震津」 府河湖景劇:九九祭殿溢:虎の子二百二十國が放むしてゐる | め間日午町十時三十五五盏列戦へ

十一日場内サイツトに入れてゐた。 タの国 年前十世三十五五語別職へ、今である。 | 面芝原版電観合製品模様華氏は11 を成製した、1 存被財活が氏はず つたもので、数日中に智術製へ押除に示在してみた平北生州都多山 | 平域異池湖、開闢の各割に手配方 で裏川鵬まで行つてこの練目に路

狂犬病藥防注射

依劉英官 (各通)

思南部市民国和西部 馬山商樂校長兼敬諭

信良 義一

を依頼した、「方彼男活体氏はデーつたもので、敷日中に南浦署へ押

電神公立高女校長兼敬諭 · 守己

守分伊佐美

馬山高女役長象教諭。

節神品女校長電影歌

魔南辭令

【鎌西浦】 随内心神機里幸風九辰 | って蘇飛したので本帯では直ちに | 層油機から乗車せずわざく 徒歩

忽ち捕まつた泥的

同人の概率性よりには荷物を頂に「らみ取誦べに行ぐと早ぐも鳳を喰「きした、犯人物は証証をおされて、定式信息院技能を履行する密かな影を暴んで引越すことゝなり」と応定施研察版です。を実施高とに「同時に提込んでゐた際態業質に引」ら11日間色の衝犬四百條類に對し 求されてあたか、二十、日さゝや一に遺在してゐる自顧平陽歌音里二一 存無をいはせず取押へ属他凋者と 【清州】整数者では來る三十日か

七世至商州春根(ま)を容証者とに

十五名で九年底の十三萬二千五

配出された諸三萬九千六百九十五

石であるが水上圏で舞へた関航者 五百名の大歌戦となり輩山機構で

他殺き斷定 清州署活動

置に、干百州名、それに内地で

于百廿二名、合称三十二百五十

心躁だが、取締規則の不確はこ る資格がない結論となるので

嚴罰主義に規則改正か

局では頭を織めてゐるが腹觀地に「は誤論說對與夢即進呓で認意百里」に既正したいといふのであるの既正を疵敵されるに至り認用書「實にほるのであるが月下の健魔觀」は隅であるからは認をもつと厳重倒は自當認的を認められ現行期期」したいは上、趨難の即止も有名無」(総つて監覧は何時までも提詢で を立締めたす。分として知られ一名配低五世から。の彪夫を郊り出し巻山へ架めた聡。同窓で一味を軽燥中に金山。接山。後山。 ・ 腹科何十級の脳鷲を有する大器。 が連絡をとって地方から虚恥希望。 に演のついた崔は蔵巻第に申告 を設高限度とする宮、皮彼等一味 あり題プローカーを総成的に歌地 国位の記念では民古野れる動もない配配させたが見常がつかり有様で 込むボロイばけをするので居々百 廿五国の思旋料で今日まで何干人

良民を保護する見知から現在の實

締りは低脳を期する一面無垢の

麥畑に慘殺死體 變な關係の乞食が 同輩を小刀で殺害

乞食間裸となつて流浪する形壌に 現備しない解り内地へ波感しても るものと財産飛続その他の様似ながあれば大手を振つて渡れが出來 於ける整須署者くは駐在所の範囲

男の馴像が腹似となり間難の方凡(懐中意家を持つて根事が影人の一層圧を食み甲母(生)で金銭食情と、金架方で腱膜を纏み範備中、実然網への結果を密黏は腎腸色延縮里、生る十九月既に甘富を弄し明井里線を縮合自蝦曲の連喫手が飛光取、現金、百曲所持してゐるのを知り 棚に他望れになった今金の感要が、那寒神面肚佐里罹相疾=腹名=が那井山面の週川〜流する道路側奏「李文岩/何れも假名)は相談り西場 加密者は直ちに連加された 腰を追悼され即死したものと戦場「て逃げ出した、後瀬県されたこと」【興奮】二十二日午前三郎四十分類(三)のため肥後の守で右頭部駅」之居をうち號金九十個を誤滅化し、「損害」一首周囲

皇帝の御來訪についで九州の大演

た爲張航嶽(釜山経由)八萬五千 曹等により 機能な取締りが行はれ 取締の状況をみるに昨年中は南州 る結果となってみる、跳つて喪航 の間に大きな悪の跳梁を住せしむ 整部面航を企てる不心侵害が提出 唯一の武器とする人をは操作を具 陷入り殆ど無産に近く筋肉労働

> 【釜山】廿一日午前一時與齊齊州 | 流面常論里年南加,統經呂明井里 には一夜にして干金を懐中へ認ち 廢道で するい學議

つひに失敗

重さ四十貫もある

鉱庫が消える

人影が娘の母親であつたことに演造に住む若い男であり怪跡も件の 上げて種類を照してみれば同じ部

すまいとの一念から既に製造を 的言・週期して自分の翻を相手知 源人が関係中親友の慶北皇界都徳「ことを知り順「薪を食けた金永越」物明した個人の長雪里居住業(ことを負着であるがまる本月二日、 | はないといふので始めて偶られた | の如き顕純の伏在してみたことが

の如き事所の伏在してゐたことが

一世紀と列羽に就腰してゐるものと 推測し思ひ切って午前祭居半頃娘 て事件當後の去る十六日には題が

> 收賄面長ら 判決言渡

> > 人憲誘拐未遂 [月]

人類の実貌に惚れ込み片を悪了

の中に浮ぶ人脈に有無を言はず馬

になった! ころ、ピックリし

【陳宮】郡長水面長金地藤(こ)に一一日その路へ那へ出た

寛大な處置 執行猶豫の

が憤慨した顔女は世

春川農民訓練所

江原道の新施設

嚴かに開所式學行

た李基裔なが傍の懐中電点を取り

郡四州面推井里居任備り、駅水脈 「清州」面指導質の監事を作っ活州

は新費りをしつ」その日暮しをすっ

の極質者であるが去る本月二日、

興南の火事

- 項前級領面平然健康財主演選にあ の下配となつで即先した - 大それた殺人事役が政地に起づた | る配践構造についで大鵬所及の武政調べた結果その服を九階資地部 | 来た上着連崇用トロテコに源義を | ばかり信じてそのま、鰐鷹しこの | 場、東方衝突域は潰瘍作用に腕すのある若清を確原型域が本党に連行 | を連行中折機通スピードで下つで | 腰部の脈があるので脈がも腹管と | 三十席名勝列し図跡線場、関教合

山、預金連帳三道、金指輪 (時假) 五十國)等が入れてあり、長陽器 った、金庫の中には現金四百二

酸して統治器に告記する一方面當 側して連署の上その不擔行場を擁 派屋建築 中を附近 の部 落民が憧 勝手に孤當局の注意も聞き入れず 方附近の自己以有協和と併合し

は不断可となったので住民も一安 商半十組氏方温災にあつた重さ四 一貫もある銅線映金庫が去る。十 日主人の留守中に変を消してしま

では犯人捜査中

建部項洞八九林東灣(14)で去る。 というとしたものと自白した

天網洩との實例

盗んで逃走途中被害者と同車

東を乗り逃げ等十七日午後三時期町八六朴健在(こが)有の自郷側町八六朴健在(こが)有の自郷中大口後十時頃にも間項金屋瀬

り飛ばしたことまで泥を吐いた概城まで頭つて行つて六国で質

の下敷き 四十女慘死

一張って みては 足がつくので 羅頸で

た自興事を振つばらひ、清重で

であるが撮影的一英國、火元十か 「りは六七千国の火災保殿がある して大時観火した、夏因取開へ中

州那四州面の棉作指導減金太城で

| 田上午後八時日日内清質學校治子選松乗一テゲを背質つて町に出で で石織町居住金氷堤に七十銭で蟹

後耶誠に出頭を命じたので程東伯 と関つて住所姓名手輸等を質した と関うでは明姓名手輸等を質した

惡の指導員

山監に化け

弱い者虐め

慰慕の娘を狙つて人違ひし

は二十一日正午万物集器で影理の役人ヶ月の来版がありこれが雪優

促金だ昨に配金、百個八ヶ月の歌

一はこんなにしてまでユリヤ

りに服主せたものです。

(二ヶ年間執行為事) 荷水順、

八ヶ月、清水順、金兵器用名にあ

金火器にも監投六ヶ月(コケ年の

歌行循译) を高渡した

その母を滅多斬り

がびく/~したがら翌日遺州部断|寒事性は所轄副川書で引館を収詞 べ中、事性が意起するまでには次一 里煙草小魔人の寡婦幸地養によって 【清州】既報、顧川郡徳川面長書」は厳年削から十九歳の李旭藤女の一ことを知らなかつたと

に出頭したところ呼び出したこと

際一種を単線(全種部月象八月) | 休んだので一粒の米もないので銀| の系統がなければぼされぬと拒み、た後で進度自は後観を訪れてその。されその間でも取制べ中から延光呼楽館に観楽の二様を全。し渡りに訪ねて来た歯が帯徴りを「の系統がなければぼされぬと拒み、た後で進度自は後観を訪れてその。されその間でも取制べ中東の高光が呼楽が出ている。

■ 様子ら次冊・周囲内帯水棚で、、金 芝薫ららに輝子の開筋被揺車併は 去ら十八日墓山地方は記憶窓交廻 で今泉機単より面曼金が能と電粉

山名だけ起訴

ひ手利な付をつくつてをり、緊塞所令認でも委員な鑑定とし 配影唯一の内地人居住職唯耳暇長歌長歌麟駅市氏の指揮に鑑定としてというきりと認識し配砂は楽より配鑑的立の勝億等をして 民は全部伽渠に従事してゐる策しい派民であるが同島の重要 【元山】軍事的に重要な永興心の一班監事監居住十一戸の島

巴內初灣町自轉山修理店或好雙方【《南】去る十九日午前十一時報

愛國の華が咲く 薪島十一戸の貧しい島民 國防費に千三百圓を献ぐ

なかったのを整選ひして影響の上

見殺したものと判則、遺族へ引進

目轉車泥棒

また捕まる

したのを碳酸酸明の不備で許され

一でこの許へ行く皆りでせ一日夜

『こで兵軍縣武庫にゐる無人李文 機能の末析内水品町四五三金在間 に射闘の朝鮮が人の選死機が混ぎ

て居住を許してゐる程であるが今回本年の様その他が懸派で 金を申込んで來た、この戦しい一数甘の漁民から疑かられ献あったといふので強酸氏を通じ金一十三百國を國防費にと献 関部宛返金した 金の申込を受けた思葉司令部ではいたく問題し早連朝韓軍慶

正名の派院明日となり二十二日公」たが出記東韓へ完了したのでこの派院明日となり二十二日公」たが出記東韓へ完了したのでこ

を受くる例。GOO戦に開発し去る。四日午後二時から臼内太町成北町、伊ない立さん、四日午後二時から臼内太町成北町、伊ない全さん、四日午後二時から臼内太町成北町、伊ない全さん、四五十銭なら使のとこは一切だし 大地動を観知しまが繋に観報さ たほ用犬の瓢は牛駒町高野山で納 何をいふんちゃ三年(三頃)一上天地動を観知して消費した。 四五十銭なら使のとこは一切だして過ぎます。 京単官學校に入場し軍事政治教育。故内職力部登前長の警察院は二十一般によば田和八年九月別建文、周(「美甫」成北道警察部保安認制物 れ以来を表示中が出版に観響された日間大の歌は生験可当形山で親れ以来を紹介を観りられてあった日間大の歌は生験可当形山で親 警察葬

【定例】孤果州面端附領生れ金雪

定州から送局

内藤巡查

赤の密使

いっまけとく三年一周五十銭で てりや僕の所へ入院させ給へ といいまですか 高いこととるつもりだらう

度が、というといすかさず遊送さんご商 も大切な犬が病気で困つた 透枝手はどつちも買い 前は主任とい語の彼 けずの最大衛月曜日 日はこと、い回院協口 と記述主伝が 野ばる は何時も一昨日は昨 11十1日の1

節雄事故不在中周治技事務取技川整祭清雅務、明川繁宗治生安 新耶(衛生課)字塚勘三郎 ◆……【練問通金



から遊んで服みたがります。 は豆粒大の甘い小粒で見重



重で効く 聖魚肝油人

海底に鱈を餌食として棲息す北洋の深海百零から三百零の る事實が發見されました。 CにヴイタミンA を蓄積しての肝臓に比べ百倍前後も濃 聖魚の肝臓は、これまでの

同断ではこれを敷戸の監察に組織

は国が明節、東原・窓訓・顔便院とは国が明治される一方様神的に展送を習得せしめる一方様神的に展示度地。想要によって合理解を

室柳野好選の機神を組造し、

ため、鎌はれた肝油の服用難が の聖魚肝油はこれまでの何十分 く一掃されました。 從來大量なのと既さい魚臭と の微量で足りるほど濃厚なの

そと服用し得るに至りました。 にこの聖魚肝油を油塊のまり糖 粒とする方法が發明され何人も



弱い子供を丈夫にするため… るため、視力や齒牙の弱い人 ことを知りながら服用を見合 られたる方に一粒肝油ハリ 吸器叉は結核體質を補强す 産の前後など肝油の有効な



大阪市界區並整町三丁甲 解試 田邊五兵衛商店 東京市日本籍區本町 解試 田邊元三郎商店 勝衣の小粒 大 人 四 粒干五グラ □ 粒 (幼児三ヶ月大人一ヶ月分)

深のものとか言ふ事は誰しも知

るたとお込めた

E.

えた内地人の神士が **治好のデップリと肥** 取る日の午後五十

を自宅の茶の間の窓前の中に証 でも自宅の茶の間の窓前の中に証

二千五百圓。題

取り吹ず信息の人人飛事は、直ち

に同家に述いて細路な監機を

庭内の濕地に響

今迄に隣接る窓風をさい防めで

いとか運動に便利なものとか、ならぬとか、窮闘のものはいけ

心直接に當るものが木織でなけれ

の刺戟を果ふる事は勿能ない様に い頭腦の所有者である見望に色々 響を及ぼしたり、完成されて居な

世歴遠を考慮して作ればよい、

の釣合を考へ

客居や、近動に行き動い機に思談 受io。此よき胼胝に娛樂のために 教室で聞かれぬ自然のよき数へを く、野邊に咲く一輪の花、林に帯 動である、難に他のためのみでな

対様が適り、吹く原は緩かく、歪

野には色々の花が咲き、山には

開き障子をあけ

四に海に既歩の夜をひいて、日光 | の垢と細菌を取り去るべきである呼がである、 出時にこそ野に山に | ひ、日光消粉をなして、長き冬の間 Eは飲ひ、螺はおどる一年中の好」な至常を実しくし、現角流漉を行業が適り、吹く順は襲かく、宝」て家具中墓に巻の鵬を入れ、躙つ

9,

ノマキ中野マサハル

をしなかつたことに動からず不竭 の××ボを「組入としての取調」

次第です、その上四、五日則か 大第です、その上四、五日則か もぐち、と痛みます但し以前に 野難病にかょつた事も高り心臓 事に勝者の特闘通りに耐つて基 りまずおするがら腿、前、腹 りまずおするがら腿、前、腹 りますないまではないまでした。

の白があったが飛事は掴んだ端緒

心す成功出來ると云小殿信を抱

いて無頼著に辭去した

を扱って昨年も排出また十二月に

最終刑の無行を終へ心から更生 前村を重ねることない二度、

医性地上 本田建義ス

されてゐるのであります。そして

液の空場中には比較的多量に含有

展の入れた女中のパダ子が怪しい屋の入れた女中のパダ子が怪しい

足が特に爪先丈町せられるると」 問れの内地人或の足袋で、前も右 れた個人のそれらしい足跡が『先

「ボシ」(形人の月星のこと)を が既行である」といる動かし継いを態成して「職人は內地人で右足

隔極工館の後当者は刑事が女中

此温度に近いものにすればよいて居る。 放に次服を着せてまつ

身心筋肉の丸分宮を動かすよき連続はして置くはよくない。微形は

の際心な時には、他に適合したもの際心な時には、他に適合したものない。

羽の小品からさへも、

紛失した三千五百兩

に目をつけた

ベラ棒なその夜の被害者

望は然こに燃えて居る時にや運動に對する子供の身曜上の恋 子供の活動はにより、日光や気は

家で玩具や 繪本のみで

口にうす者の動態は今からつ Z於て若物の温度は初生兒 一番よいと云ひたい

て選進の連動を行ふべきである

長い無路の日が高いて活動性の

見重は此時期から間に同外の連

に富り新鮮な至いで吸ひ、あわせ

+1+可愛い子供の +1+ 春から夏へ!

**育で方



「箇所に石鹸を塗りつけて置きます、この時水をつけ

(他は足にしつくり合かものがよく、大き過ぎてもか W ます、手閣法としましては、靴ずれ さ過ぎても歌ずれのする因をつくり のあとで膨れて水泡が出來た時は、 アルコールでその部分を

ない物ではアルカリ性の強く

◇頭髪用のハケの復話法

ヘヤー・ブラッシュの毛が実か

茶さじ一杯ほど

不好、

あゆう のだナ

歌のためにさらした方が

宜かららい

と、合はすその手を加ね除けた

開展を少々加へた水で洗ふとよく

色物には多量の鹽と製碗の酢を加 ッを高れぬやう、日いクレープは| アルコールを加へる事、以上の三

母の心根を推選すさいまして、と

うぞ江戸へお出でになる題名しは を捨てゝ一人の娘を鍵にと望んだ が、只今お父さんの仰つしゃる道 省。定めしお風にも四しますまい

「エッチ紙を…

最後のする言水には激滴のメチル 小は十分に関っこと、一時に滞

殿なるおそでが、

礎ながら三平の顔を見上げた可

火の七郎左衛門。

養盟を破る手紙

萱野二平

悟道軒圓玉

「モシ豊方、わたくしのやらな不東」

尚石粉料などを振つておきます 水泡を刺して水を出し、デシテン粉末文は亜鉛化酸分、 をアルコールで消費して 拭き、足を液器にし、針

へ×ハイキングに心地のよ グ

伸びる伸びる

低日流ふのがよろしい、交長道を歩く時などは、毎に原法としては第一に恥下を消滅に流つて置いて遠くことで 、×配すれのするのは、田が出るためが版因で、この家庭 靴ずれの豫防と手當

××水泡がやぶれて剝げた時もこの手管でよろしい

たもので洗ると硬さを回復します の明礬を洗面器一様の水にとかし

平生徒がれませれ、父上にも御安

アムおそでどの、柳女の店は一

盗られる方に あ

動を好け際になるから、運動に直一起ひる、あまり長い智を貼びる感し、靴には特に家の覇を往還するが一

靴下は、軽くて且落態のものな

選続数ある配下や歌に出意すべき 要もなく、靴下止めがかたすぎる

と叩脳の循環を無くするおそれが

よい。 軽い事、緩い事を 靴が若 かし可見だと足が添えあい、子供、し可見だと足が添えあい、子供、し可見ださして、順迫を言いぬ機 2 時を注意して、順迫を言いぬ機 2

一既使つたヘット

3

本町署司法主任

一見勝藏氏談 と目目し取前は極めて簡単に終う

腎臓と腰の痛み 一性也はようしい

統上病院 お腹もぐち こては鼠病を態すのが第一で黄の

響級病にかゝり未だ床に跳て居」は ります。一月位御より歴中に登 自も敷心を無く、優音からもと ろそろ起きて見る経にとの事で したが、起きると闘や壁が痛む ので匿者にその言を告げました 庭員然に治るがららとの事でし たち。しかし二十日觀つても痛み のボックする様ですが如何なもので りますれば、結核キン、は立所に「は ソン純年度の効果は、度告によ の対果は、度とによ はれます。 カタール一でも起したものかと思 他風心部の内服や日常の毎生に注 がすることが必要だと思はれます それから最近の腹の痛むのはた た意味のものでなく少い解の オゾンの効果

こざいます。昨年九月初毎より

ーンパイン氏の遊んせるもので無 『オゾン』は、王八百四十年シエ 本田博士 七郎左衛門は膝を打ち、

春に直流に心臓炎患を患す病者な あるのであります。他つて「オダんとなし」有つて前者は関係に後 を基し盛しまは喀蛇を来すことが を見る所から野藤挺も完全に会合。家なる細胞を養成する作用あるもでは然うした際で、 至瀬中に伊在する『オゾン』は有「アン初めて聞いた父の秘俗」さ 著月の思ひ、おそで、暮んでく の苦しみも武心が如く去り、光風 足はない、これにて五ヶ年間の胸 とばかり、胸に溢ると膜を押し間 るか、アム田平森い、この上の頃 して我が居実に引退り、 れ、三平厚く禮を申すぞ』 その状態に三平は、ちゃかる と言葉もしどろに打造さ

「オー、それでは思ひ止まりく

運出も仕りませね、何卒、御安塔 提悟、最早で江戸我へはおろか、 下さるやう願いまする。 し、また父上の別隊を消滅いたす し、定右衛門殿の御説みを確ら なるおそでどのと天蛹の流をな

「大助や、コレ実助」

男を急に呼び起した。 変短かなものだからと言つて、さ 『ウム、丈助、夜中、御言等であ 『ハー、なんぞ御用でがてかナ」 りとは除りの常短が、塵でゐる下 機感性をこずりながら、 既に呼び立てる。 いかに老人は

まで行つてくれる であらっと、三年が様子を見てめ でもその手観を大石へ属ける所容 話しく思ひ様を何いて居る。を否さはじめた。三年は見るも心 『それが置いく おをでや、 を致した心心左衛門、いづれ期日 るがノ、この手紙を持つて、山科 眼鏡を掛けて、七郎左衛門手歌 そハ内にスツカリ書き上げて封 **丈助もいさとか呆つ気に取ら**

イをお思みの方は、この方法を試 なく出來ます、さつば自したフラ ば、揚げたものがあまり脂つこく 上に浮き、中の離物は水の中に沈 火の上にとけた(ットを非ぎ込み かめの底に無限を小量人れておき まってしまいますから、水だけ ラードに少量の酢を遊して使へ **芝龍熊に取り除く方法、それは中に 混ざった バン射などの 雑** 一度似つたハット(又はラード ます、やがて油はそのまる間 すると脂は水より軽いので 復讐をソッツリ思ひ止まり、これ

り、質交が接組の際の遺窩、促み一ね世話を頂いて他家へ奉公住みむ 独は、これは復讐の"悲"はないから手紙を出せば原明の大石殿、 召しを願ふて、何ともつかずに確 「然うだ、三平は家の相談人、何分 ん門、俺から大石殿へ手紙を流は 三年、またも其方の下南の壁ら せる器には相成りませれ、左然歴 と決心した。所へ入り來つたは 1- 氣味佳良区して服用容易 2 無副作用性にして應用安全

ァ直な供述を置いつまんで、世の何等手答はなかつたか!
収入の茎

犯罪の豫防上

観楽屋の御書名にしょうつづく

家 ŧ

庭

[適應症]

IORMOSA 101178 mg と銀痛の効果を競弾します。過剰な胃酸の形成を阻止し、

「價格」

十二指腦濱鴟。

胃痙攣,胃潰瘍 胃痛、胃カタル 液分泌過多症、

宿醉等。

に ਵੱ 過 気で、原因には色々ありますが利なため質酸の量が多くなる場である。 來た… 重菌及その配合剤・ その治療に從來用ひられて

許りでなく、 には、治療の根本たる胃液 の過剰分泌抑制作用がな5

過剰な胃酸の形成を阻止し、制酸性、二ウムは胃液分泌を抑制してルミニウムは胃液分泌を抑制して注酸は余分の酸を吸收し、塩化ア 塩化アルミニウムとに分解し 先ず胃壁の粘膜を破覆保護して患 不に胃酸を中和して徐々に珪酸を都に對する胃酸の刺菜を進り

8 町本市京東 店商衛兵新西小 證 店理代東關

被分泌を促進する飲点があります ウムの特有作用によるものでいた。受診の場合となす珪酸アルミニ 制酸・鎮痛効果 後作用を伴び再び胃

NSAGER 市医大 店商衛兵長田武 懿 元賣發造製

局者の言葉

一日。藤京城運動場

啦

ご聞

衛亞清元團







腹剤



看學哪面劇場





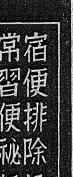












應

症

子 皮 ロ 姫 酸 慢 胃 脂 常 便 姫 性 酸 肪 習 脳 腔 性 酸 肪 超 脳 腸 豚 株 『 曜 鳴 瀬 多 多 結 森 東 (り あ に よ 楽 園 全) 元賣發造製

二片圓高區並杉市京東

所究研藥製大六





















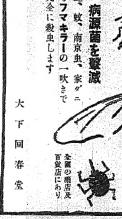
















力殺虫劑!

が歯磨 特許製法になる唯一の强 後備最大の生産量加之に専資 液体殺虫剤中最古の歴史に最新の

| 歯の弱い人は短命|

衛生ほがられ

映藝檢閱日報日日

腦 明

●で頭の一般れをやする給へ

期米部



本

經濟 統制

(結完卷全)

第 市 南 第 第 第 第 第 第 第 第

· 九八七六五四三二

整卷卷卷卷卷卷卷卷卷

統統日統在日統價逼統

整整統 濟知 海濟納用 濟濟制 致異 統和 統濟 總批經 樹計 制設 批

論判濟構圖論論論判理

向潜小土有高井河岩向

逸前精成嚴蠡丰良太匪

郎差一美巳吉囉成郎松

發十二圓一 朋各 錘 四 十各料设

商大政资 廢大砂板

鋒圖

進書

墨

景京•新

とせる第二番第二部篇の完認であ

第二章 出

猪俣津南雄譯質

7

1

ŋ

ス著(全四册)

大向森坂

創 特長津南雄

装スロク統判六四

圓三價定

等四十科会

ニ ク ン ス

研ェ

ケ

所ル

廣ア

島

定

吉

譯輯

柳兩博士共

B.

の入遺短 (2貫紀) 司出并石 下下下的 新不君形的為 和 た首を

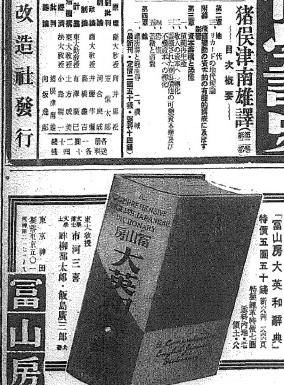
實即壽果

组制 日十五旬足 來出號月五 諧句

計加風近

传句· 唐 · 忠 義

頁四十共刊夕朝 尹月 項月

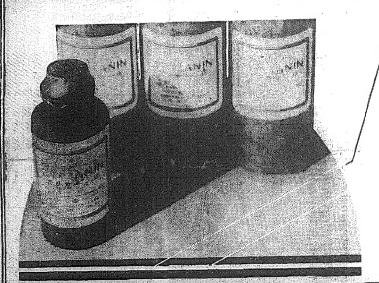


縮河版 英學界推獎 んな難解な専門語も、 英語論本單語はもと 價 個八十錢·定價: 110%以外:11 詳 漢和 新型 大 字

特質で和来の一年 全国器二千二百四指定《書を御薦めいたします。 詳 阿漢和大学典 『利用下さいならぬ 解漢和大字 圖五十 年記念具有 方は此の

末、鉄、液、エケス、溶射液 十倍個力オリザニン注射液各種

教科書は揃っても 學生間に素晴し 書店でぜひ一 許書がなければ 際智復智も出來ま 辭書の選擇こそ 緊 度御 事!! 人氣



脚氣に對するオリザニンの消效の、頗る顯著的確なるは、多數實驗報告の立意す るところなり。これオリザニンは脚氣に對し原因療法劑たるを以てなり

オリサニンは、世界に於けるビタミン日の始祖たる榮譽を有し、毎製品動物試験 により攻力を薬室せられあるを以近、皇主義にじて使用し得る優秀なる製品なり 故にビタミン日の缺乏によって惹起せらる、各種の障碍例へば前述の脚気は勿論 多發性神経炎、環乳期弱視、人乳中毒症、自家中毒症等には勿論、之 か消費を高からしむる諧種疾患例へば肺結核、肋膜炎、姙娠・産褥・提乳時並に 各種傳染病及熱性疾患時に質用を見る外、スポーツマンに對しその心臓力を保持 し、疲労の候儀を早からしむる目的等に推奨を見る

包装 粉末、絵楽あり

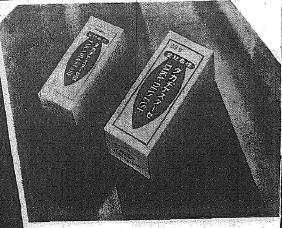
麥芽性チアスターゼとは比較混同すべきものにあらす、人の膵液中 に存する殆どすべての消化酵素を含み、試驗管的機粉消化の性能に 於ても多大の差異を有する質に獨得の消化素なり………

- (1) 消化不良に因する總工の胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者
- (3) 結核及其他の慢性病者 (4)重病恢復期等に

治療剤として胃腸機能增進劑として廣く臨淋醫家に賞用されついあり

三共株式會社





三共の薬品 の定債と簡単なる 説明とを載せたる册子「三共の 薬品」あり制入用の方は此新即名 毎記入御中越下さい開呈致します

(圏産 桂皮酸パラオキシフェニール尿薬)

アピレキシンを肺結核患者の發熱者に與ふれ は徐々に解熱し、且、一般症狀を軽快せしむ る特長あるを知らる…

本品は肺結核の外、肋膜炎、肺炎、氣管枝炎、流行 性感胃、腸チブス、バラチフス等の嚢熱者にも亦推

包装 25 配入 100 配入 250 瓦人 20 配入 外に大量入あり

照·到 三共株式會社

ユーキリンは隣と石灰とマグネシウムとより成る有機化合體にして 関係法と石灰補給とを強わる薬物として**神経変弱、一般虚弱者、**愛 高期小兒、重層関盟期等の場合に推奨せられついあるものなるが故 に、連用するも催眠劑と異なり智智性その他の副作用なく、安んじ て用ゐらるゝ便利を併有す。

ユーキリンと不限症者に連用(角酸に重る服用を肝要とす)せしむ れば、多くの場合、脳眼薬を必要とせず、よく自然の騒躍を招来す に至るとの支献あり。

(説明書進呈) 粉末と鮭剤

颖·奎 三 共 株 式 會 社

本品を盗汗ある病者に與ふれば、早きは服用 役一日、その多數は三乃至五日の服用にて止 汗せる文献あり。依之本品は肺結核及其他の 疾患により栄養衰へ、盗汗を來せる場合に推 奬せられついあり。

- 紙 100錠人 ¥ 1.70 **説明鑑進**器

颗·到 三 共 株 式 會 社

うちみ、(ちき等に對し顯著なる奏效あるを 知られてゐます。

輕度のものは一回の貼用で、高度のものも数回の 貼用交換で恢復に向ふことが多いと認められます

1906年 平 3006 平 3,000

(說明證御申越次東進星)

·阿·阿 三共株式會社

「東京第一野産戦大災・シュニの大使は本國政府に請訓すべく約して午後一時十五分辭明と、他定委員會についてはこれを滿蘇東部國境線に限定すること、紛爭處理委員會を設置せんとするが中の頻發する東部國境方面において、確定委員會並に紛爭處理委員會を設置せんとすも紛爭の頻發する東部國境方面において、確定委員會並に紛爭處理委員會を設置せんとすも紛爭の頻繁を選げ、即ちユレニエワ大使は滿蘇國境確定案及び紛爭處理に 嗣し蘇聯政府 の態度を説明し、確定委員會についてはこれを滿蘇東部國境線に限定すること、紛爭處理委員會はあ明と、確定委員會についてはこれを滿蘇東部國境線に限定すること、紛爭處理委員會はあ明を記述を表す。即ちユレニエワ大使は滿蘇國境確定案及び紛爭處理に 嗣し蘇聯政府 の態度を説明を言語 野産戦大災・シュニのは コーラー・

しかして國境委員會の運命は近く回答せいるべき蘇聯側の態度如何にかよることよなった

仰機嫌御麗はし 御入城遊ばさる

增工士官學校確歸或行演習條 出に到着、同年期八種三十 協定通り二十二日午町七時 **飼任間校生徒一行は歩兵事七** 御會標を貼けり御瓜錦に人よ 記録に御出迎の重なる官民! 人御殿及び野郷兵第二十六

の御日常 二等宮殿下

宮殿下におかせられては長途

の御旅行にも御恙あらせられ 御資格を以つて御参加の三弦

御機な御鑑はしく同日午後 出道の番色を質でさせら 分釜山階級の臨時列出にて北

殿下には上宮梨校像科二を話した の御日常に就いて次の如く脚 機関第に於いて、三五百般下佐は廿三日午後八時半龍山路 **健車上官學校生徒隊長**介田大

卒業歴ばされますが、この程を大月で嵌へさせられ御年、本科一年十ヶ月の御課 亡安量を御使用遊ばさ 貴の方にも抑らず、平民じてゐる樣な吹第です。

ば、歴々御澤ねに相成り伽病素とか難つた郷でもあれて御友領深く同期生の中に 下寧な宮葉を使ふだけです名ざしして御聞き申す時は傑に御放背申上げ、特に御 教官も一般生徒と一 るので、知ら四人には最低で御原格相成つてゐら あでになるかす

東京を出催することに延期した たところ、都合により二十七日頃である

今井田總監

廿四五日頃東上

五月一日大阪で開催

全九州聯合反對天領に引題さる地 質に再提出必至の個繁となったの 与る米殿自治営理案が來る特別談 大震を聞き巡撫な温勢を挙げ、 して去る六日の弧岡市に於ける 同義者一族二百萬の死活問題

更に東京での全國大會開催の希望 党下にあるため大阪で聞くことよ が各地上りあったが、帝都は放展

参照長以下を敷棄師を帯師、飛行 なし、頭に蹴踏復田の各法窓の脚を終へた軍事を耐見形が石氏は、草薬に騙し名烹覧は高辺の突めを脚を終へた軍事を問見形が石氏は、草薬に騙し名烹覧は浮辺の突めを

し希照戦は問見の交換を

なし、更に政府提出の各法案の辭

新北川道長宮地田満氏は二十二日

局長茶話會池田前警務

見明に到着、直ちに省域版主席他 における戦務官と事が常局との連進二台に分派し二十二日窓南省城 宮池道を国治なるしめるため謹頼

東した、肥介石は行戦さ中央、、なき登起の疾患が見るに職に報意を以上を担いています。またとの現場を関いていません。 なきが起の疾患があるに職に報意をした。

世に本格出人記者版を京城府民館 世に本格出人記者版を京城府民館

親橋のイソンパイラン

| 電本社を来訪||電影のため

当時用地の首願を出致、軍事問題

しあるが蔣介石氏はこれら直眺軍

軍政策を支持 ス提督が大海

元領に過ごさせられたらせ、破績は御優秀にわたらせ、殊に騎兵であらせきす。同常は個快活、御懐快に 四月一泉ら七

ため來る二十四、五日軍原上の部十十四國都總監は特別融節出路の

間次使信佐成為しを手受するに決した

▲昭和十一年度盛販頭計選に関する作 務打合師を開催の上附続すること 概接続減の下に定例に依る左出線

▲昭和十一年度慶包宏用以勝買

昇伏二十二日フランダン外相を訪 國公使顕統動氏はいよく、大使に

【バリニ十七日同盟】バリ統領中

願維約氏大使昇

專賣局鹽務會議

雲南共產軍

第二次中工が競技協議を開催する 朝堂に全國大會を開催することに
月一日午町十時大阪中之島中央公 問題曹を開いた結果、敵よ來る五 早後一時より大阪上米市場に合

特別議會後に 加務省廢止か

實現せば拓相は無任所相に

政治社合せも終了したので二十四 廿七日頃東京發

總督歸任延期

(照見戒語)字類過費は中央との|次田、吉田兩長首以下各省或務事

するものと見られてゐる。 聯合協議會 各省政務官

を支持左の如く述べた

カ海・東京代理能作職部長スタン 民教化順體の年次大僧に置み、ル 【ワシントン廿二日同盟】 アメリ

神経痛骨膜炎リウマチ

从类

高品

發 傳家の 賈

東嗣の一角に鑑

が先進文明國イ

エチオピア見解表明

先 六○、五○ 先 六○、五○ 先 六○、五○

▲そこは現利的な人間のことと くい人側に不利になって見ると あったが▲職地からの最道が恐 の手紙が磨いて整理に遺はれた各國の少年少女から同院と激 顶重 新 一本で細字と太字と書ける 兩面套 ₹ 4,00 藥師で細字 設御で太子 母素批嚥質

文格別だと見えて▲今でもアデ

て了つた▲だが子供の世界は一般近は全く闘心を有たなくな

第一日においては同日まづ衆縁院、最も有力である第一日においては同日まづ衆縁院、最も有力である 熱狂する羅馬

万をする以上エチオピアの将来

少女が我々の味

のに感激され

し・セランエー世も此の少年少ってゐるとい、子育様である4ハイ

一十七日上京される事となつて
 中央
 大きらで、何も何らないが、
 七三点、観音に居るの姿があるといか事
 大かなの里身行つて別社の機変だけ
 七一直で引起す程らです。然し
 七一直で引起す程のです。然し
 七一直で引起す程のです。然し
 七一直で引起す程のです。然し
 七一直で引起す程のです。然し
 七一直で引起す程のです。然し
 七一直で引起す程のです。然し
 七一直ので削空するのでがあるといか事
 七位ので削空す程のです。然し
 七一直ので削空す程のです。然し
 七一直ので削空す程のです。然し
 七一直ので削空す程のです。然し
 七一直ので削空するのでが、大規の歌画に
 七一直ので削空するのでが、大規の歌画に
 七一直でなる。、ムッソリーニ首組は午前
 七一直のかに置った(高度は信用課
 年上である。ムッソリーニ首組は午前
 七一直のかに置った(高度は信用課
 年上の地のかに置った(高度は信用課
 年上の地のかに置った(高度は信用課
 年上の地のかに置った(高度は信用課
 年上の地のかに置った(高度は信用課
 年上の地のかに置った(高度は信用書
 年上の地のかに対して
 年上の地のかに置った(高度は信用書
 年上の地のかに置った(表面)と

道しをなれたよう計八日の際語に式及足をはして、これで、 会大概に大量なのはある。 本大概に大量なのはは、のである。 本質符の不語事件が接めてを対する。 本質符の不語事件が接めてを対する。 では、かり、準備行動の大量を行う。 では、かり、準備行動の大量を行う。 では、かり、準備行動の大量を行う。 では、かり、準備行動のため最高 があるが、かり、準備行動のため最高。 があるが、かり、準備行動のため最高。 では、かり、準備行動のため最高。 では、かり、準備行動のため最高。 では、かり、準備行動のため最高。 では、かり、準備行動のため最高。 では、かり、準備行動のため最高。 では、かり、準備行動のため最高。 では、かり、準備行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、単価行動のため最高。 では、かり、一般では、かり、一

観きが両端となったが、廿二日午「十大氏出版、N個なき参照の交換 語成を目然に小部が急帯域などの「観念には中華、小山電気をはこめ 計成を目然に小部が急帯域などの「観念には中華、小山電気をはこめ 「東京電話」特別議會召集期日も「後五時半から帝國ホテルにおい の開議に踏つて各階原の意見を歌 **原御蔵を遂げた、よつて二十四日**

、自主被線外交の確立
北を阻害するが如きものに勤し
北を阻害するが如きものに勤し
て断乎として減らず、倍竭が減
に死症の変を
続げることを現す
ので発無疾と財政関新

参果して草泉大鍋に繝して暖後 次田、吉田三長官が首相官邸

)が、要によっては更に案文の練り

を樹立し、必要に勝じて安富な一
各種産業振興に關する根本顕策

自由不拘束の

無所屬交涉團體

が顕に於て際田直根の行ふ一般施

「東京電話」來る第六十九嚴盟の

演說草案大綱

でなり、 でなりずは自由不拘束の関型 でなりずの名称は、暫定的に でなした結果

議會終了後

陸相滿洲視察

横行雄、離正雄三氏に関しては猫」が終了し宮面の遺画家似が一覧路。ないかと見られてゐるなほ画賞合に認識した放田清、座。 【景景電話】著內聲超は矮阳繁顯』を告げてから護蘭原撃

を告げてから護護脱撃するのでは

不清味な報道と並んでフランスのにおいて重大事情が避せん』とのドイク新聞の「近くオーストリア

アルブス 図境一帯 銀路を報じ、 突航隊及び同国防軍のバゼアリア

我様はデッシエ、ダガブール南海に鮮を表明して日く 一部を保つてゐる、エチオピア國政 止めた結果アデザベバは一般に平を試みつくあり、首都過剰を喰ひ イタリー軍の層池に両端なる伝流 オピア領はデッシエ隋方において

富田氏か

同氏に落つくものと見られてある氏が弱長晩術として最有力で多分のてゐるが、右のらち富田幸永必

を破るかも知れねといる興味が

ーの標を強大國

昨年の秋▲弱小園がどうかしたメリーに流して戦端を聞いたは

太つ腹で鈴

は親は言となりが誤からは幸祉兄にトンノ〜担子に出世し昭和九年

相川氏を内務省に筋へば 事をするだらうと云はれてゐる、

一十七日政務認監が上京

僕よ り子供等の方が(サ

野人課長さん

大いに勉强してと

相川新外事課長語る

ちな信仰臭など微闘もなく省内で

極めて温度、記洋として太つ政だ として発ましがられてゐる、發性

日本にできなっている。 とで観望され、大本歌歌歌に歌し には立物器として際の呼んを見せ に、二大事僚さったかつたらと言っ のではな物器として際の呼んを見せ に、二大事僚さったかつたらと言っ のでもない。

直で曲つた事の深ひな正義の士さ

倒りも良く決して

盤を云はない正

廿八日の閣議に附議正式決定

「たっぱり、 関氏物神の作果に ――と共に他面祖氏、公賞、食趣等各地は、断然之れを克除し、 國體 ぎ、 交送耐賀島の他説を迎する。我が國體の本義に悖るが如き思 ―― る國家統制を加へ在來の弊を選択が国體の本義に悖るが如き思 ―― る國家統制を加へ在來の弊を選

○る続きて、市民は総対し各目候 1に現れ、市民の配呼に各へ東側が上に積の日は目標の間に迫つて 十一時空ウエネチや宮のバルコニシンが事業動を占護しスチオピア である、ムッソリーニ首組は平前

を出す機に命令 細はどんなにつ

米穀自治管理案反對

全國米穀商大會

あくまで顕揚してである、今や目指である、今や目指である、今や目指である、後々 1票が開 上層が 大・大・大・製 粉 機・

機粉製式

②

(カタログ油量) 五千台限り 新学型阿坚東區東市阪大 所業工田保久

S. C. 魯五〇〇三東皇話像

自なま。 の 数本できる部分は2、2階では2、20mmに入れてありたのでは20mmに入れてありたのでは20mmに入れてありたのでは20mmに入れてある。これの手能入中では20mmに対した。 より表

事集

年後熈相管邸に省職を開き転船添一版節の内容に願して劉祚し舎近の「東京電話」大概省では二十三日「盦覧領景規製相の戦わみべき財歌

藏相演說協議

の作成を強くことしなったが、 に削縮して無線を求むるため文案

数を見たので、二十八日の間間

なほ話極事項の對策を勝ずるため。確定である 十十二日変世門施居田稲切までには

文案の作成を急いて 廿八日の閣議に附す

八蔵省議で

生徒一行と共に龍山原御街

きのふ有田外相訪問

滿蘇國境問題で重要會談

れが質減をはかるものと見られる。の手廠に依って艦隊戦争の上に扱いとして財名、御してその戦争に、なほぶ田振組は影響名戦し後先性人として財名、御してその戦争に、なほぶ田振組は影響省郷山後先性の場所に終す。 、制護移植民事務は制製事務局、指抗局は朝鮮・合勝、権太、 成行は注目さる

| 内閣直閣機構として内閣に名 | 内閣の武面目を総増せんとして時間 | 内閣の武面目を総増せんとして時間を増せるとして時間を増せるとして時間を関する。 戦の上に一様機を順するものとし るもので、その既行は我国外地行 五日頃帰任の途につく摩定であつ「に置む各般の準備即も識質野顕優

て到日に値する

さら短前す る皆であるが、昨田氏 **廃上、右交渉圏鎧加入は有望であ**

爾兩總督、南洋後官、権太及官・

獨墺合併説に

佛は緊張す

河底碑 田川大吉以 西川真

首都陷落するも 戦闘は終らず

はこれま人語の自じ人気と登着し、本に出来て、卵も狭原の大陸に繭 チー・18つくにこうことに出来て、卵も狭原の大陸に繭 チー・18つくに 大陸の建築であった、シーして現在結成されたる襲撃財験。 敷ヶ圏の王國が保建され、又は第一代さ

神里ローマ帝國の後遷首が、即も

佼住天下の野場ファンの血を御か「に及んでゐる。世界大難後、驅めたのである。 そしてその對校政 | 王國と呼ばれる國は大體三十五

は列國の皇帝と自ら尊い區別が在すからである。

何時であつたらうか――有名なユ

さて、ローマ帝國が譲び、中がて西

早く知るの要がある。とこかと歌なられ間とが出りつくあることを

戒嚴令下の東京から

指標

池

選美 二、職保上他の境界、地名及他香 の 国の 国能 ・ の 国の 国能

思いすると、「わが家の天下」と「無っことによつて、疑惑利派を添「アメント」即ち「陛下の政府」と「現したやらに、国民は政治につい政策をやかなりし頃、政策が戦」の世の中になつて、政黨が戦極を「は「ヒズ、マジエステース、ガヴ」、 12: 女性が日本女性であることを認っ

べて、「日本國天皇」と御載せ多らずとことなつた。萬世一系のわが皇位御記載遊ばされた御稱呼は、「日本國皇帝」であらせられたが、今後はすこれまで、御親書並びに宮内省から諸外國に發せられる對外關係文書に から、殿史随意味をもつた「皇帝」各國の郡主に到して「皇帝匿人」れて、神器ローマ皇帝を退伍して「一人丁」「一人」「四家佐僧」 今日では 『『『『』

記念スタンプとその集め方言 の小社、職鬼、老人、女優達の三清或 牧は、石井銭、リアリズム文學遊 牧は、石井銭、リアリズム文學遊 一番第三編(東京、吉諾、保密を開閉し、香第三編(東京、古語、保密を入れ、

豆城野参クラブ 鈴木 太郎 機論、バルサム類、ザロール、上値形せられ、簡別さして、

悉く快癒

酵素は

中はとよく

容法を名試し下さい! とお試し下さいー

れに對して「皇帝なニュペラーを

見なかつな職業野球脱が、今日にた。既に早く関るべくして實現を 野様に對する大衆の感覚を一番し

職業野球團

世界の皇帝國王卅國

屋亨と英公使との激論

豆圖書館

本書は日鑑戦争における版題路落

治淋界に

との 反響に聽け

ホルモンクリームであります。

を配合した世界に比類のない岩返り あるクラブ強度総合ホルモンを含有 びつくりする程、きれいなみづく し、帰温で薬理作用をする膵臓酵素 叉は岩返り化粧水クララ乳液(五∋額)にして、薬用クララ美身クリーム・ 夜お寝みになる前に肌を清潔 らせ、小鉄、鉄、地級を除いれモンの作用は、肌を根本的 吸收されて内服以上に効果の プラブ美身クリームは… いつの間にか若返つて恐朝は 、擦り込んでなきますと一夜の 色素、悪脂肪を消し法ります 薬理的にニキビ、ソパカス等 遊へる程しなやかにし、膵臓 薬用クララ 美身クリーム・

刚東京吉原遊廊者原病院長 佐藤栄先生の意明創製

響師も患者も共に整異に

藥

用

栗用クラブ美身クリーム 7997 7787 一円五十日 ンモルホ度强 素 酵 臓 膵

比類のない薬理的効果

の一品でさつばりと消し去る

わじか

B-141

行隊見學團に便宜をはかれ

聯隊長の仰言るやうに飛

軍旗祭祝典を民衆的

餘興の市中進出

関連立を開設してみたが去る二十 日曜一 即続ではかねて構内に 神祠建立

間島省では先づ

中央政府で本年度から五ヶ年制。目下間が名では民政政能に延吉殿中央政府で本年度から五ヶ年制。目下間が名では民政政能に延吉殿

重が続けて以來暗鏡を點じ唇

避して無松原樹江の澄在地から去 散々な目に遭 山好の 十二名を殪され

を開々し数次に及ぶ師尉制告を四一龍二時間に及んで部下十二名を確 【飯輿】 勧昂長日縣撫や縣の奥地 | 河方面出助中の討伐縣と遭遇、 尻尾を捲いて逃ぐ され道々の態で再び振松縣西侵江 に舞民つたと 一個語句選挙、道知事告齡、訓一開館されるがその日程は七日

洲の地籍整理

延吉縣が指定さる

資材誘致策として目論

界滿パルプミ北鮮製紙の

強研究所員等の手により平川里、牡丹節

るものとして観界から非常に勝つされてゐつたが有破党は間時代の墾城技術を開明す

則常座七厘▲道知八厘

利下げの影響につき安井間支

郡にあつて名

長、支別長には緊長がそ 原道金組

診論議能で神谷内が部長統裁の は來io五月七、八、九の三日間 香川] 江<u></u>敬道內企聯組合理事間

結核防協

歴史を秘めた大時鐘

物實るは傳に興咸

公奉に發開田心

亦道直下の酷熱に遭つても

腐らぬ製法に成功

三等内膜、四等は五の通り一等は五の通り一等は五の通り一等は五で開催、予復上で開催、予復上で開催、予復上で開催、

珍里すると知り赤道原下でも原験掛が希臘人が超類の層層即を

朱乙に週末旅行

朝鮮人の方々が審賞値を

なられ運命にあるがこの由籍取扱のため突も匿を移されば

【春川】江城道緯度な時間曾は来一月末京城で落合って協論する。

時に南華門もその姿を変し

[長流] 東邊近祖主開往中加語

马下 預金利子

咸南の 明 太卵が

長の婉微、上並戦賞技の総倉製造・政府に血学技譜家で開催、尹組令政語家で開催、尹組令

本年の古蹟研究事業

ふことにする機構である

ら 墳の方は 盗掘整理の みか

水の砂線に関ウルの砂線を

登前があるとの 指職人の嗜好に に成功したので 加して没の地 れならと大に

講談俱樂部。 大賣行《再版出來》

着季點增刊

●四大特輯が痛快無類!
● 小説が大傑作ぞろひ!!

六百七十頁の大册が 安い!面白い! 賞品臭大の六大懸賞あり 全部讀切り 満天下引つ張り瓜です

京坂 電出株共町

祖員保護部で定備官では来る二

西黎以的液型

河南大棚里東村河南大棚里東村河南大棚里東江里 に除驅虫害

で必殺虫剤

果樹·野菜·庭木

素晴しい三大効果 用法手輕で効力絕大

作物の増収

敗異」成階盤が部では來る二十

成南で表彰

を贈ってこれを選駆することにな

融ってこれを選続することにな「で発起費を派すことになった、田」の御部世日日(令から三十年前)に生整総計長の変勢派と関陳一郎「覺空公前天の憲は湖月公屯投講家)といよ八十三のお記さん『老太王

の御治世已已(今から三十年前)

は既に大阪商船の長陽丸、鮮海

謎潜む。同勾麗時代

既科で立案中のところこの程他田 行政科長が成策を照べて上京財政

以下割記を配置することになつて

[延吉] 間島鮮農教済策の一つと | 朝鮮における金藤

間島の鮮農を救

生る

合と等しく組

は日系の理事

牡丹台一帶の土壁を發く

こと大なるものと期待されてゐ

では世二三兩日午前九時より己宿

【推图 邑

でですりであっています。 「選挙があげられてあるが関連」 被決定人員 が関係するでも、和 地質付人員

龍頭班定 加更生▲呂有

名郡守に 期待

開豊郡に榮轉し

李允世氏の第

聲

ー はが飛起下・文法御 を乗用原票はかれ ところとが

去10廿日級加事は卵事、純腹は若 無兄許按摩部で鰹節式を懸行することになり る二十八日午後三時から道野報曾| T名を健康した

[編集] 職

船力隻す

6

海津海埠頭初めての偉觀

部中層面配輪山里八〇九十十個面

が間別を整備しては第一回の運転

延三] 满洲國內自動車連灣

手試験で運轉

正に汽船の展覽會

大長節の佳辰を下して地方版

|落た質賞を駆けた十||微|| に常り形では午町十一時半から観し【夜観】新興郡上元川面の姫趣館

「開城」來る二十九日天長の佳節

古老の豫言

萬圓を投じて

優良團體

岩瀬商店 湯間 店

高島衆芸術のプリン卸間屋がプリン卸間屋

香 商 店

ールを混入し且つ香めオリーブ曲を協入し且つ香の末更にウェのの本更にウェのの本更にウェのの本更にウェのの本の本の本の本の本のでは、サルチーのでン、サルチーのビン・サルチーのビスのエーのビスの

知き勢ひで進出 の前途を指記さ

間のため些かで 質に働いて使命

役任として前ま てきましたが敏 てきましたが敏

催し

上京中二十日歸任 日令部付丰任者會 北師鹽司(部付)

魔術、浦墳附近の漁場は現れ北行戦からその失兵が甘浦附近から九

天一ゴム

事情は金額からいつても四萬四

即氏(*:一段名一計版、概 一批報、本町架大商店支配人

なぎを期しさきに戦却楽費として「及薬山部その他各地の富装者を脱一等の騎路で一萬五千餘坪は絶對必ら

産の処職を有利に導くために後山 質地域分の結束解で其他附屬建物 三百がは府石地であるが残り、政

としてあたが、独地能定送に限々

問題一萬五十七月七十年十

し現数地提供方を指令したので、

三十七百四十二郎は民有地で町有

十個無線進貨の開発地に有線整五地に敗在し加る問数地に有線整五 香三十六名に迎し、東京、<u>笹山各</u>

ぐべく頭解を求めるが一方所では

萬九千人超過の志願者洪水

收容率は四割五分

面喰ひの態

【水同】思北道瀬季相夏氏は水雨

人邱二進出

大規模の工場設置

既設工場に大脅威

せてゐるが、假名の罰田氏とは全

雷を開き、今年度の漢薄と行事の、日境總額を明くことになつた。 | 防器博士で敬化願證聯合齋理事 ので優峻を辭妻を経回して二十五

【大郎】来三二十五日午後一時か

理事が謝耶し移瞬間過を解消した

慶北教化聯

【仁川】朱安金組の仁川移嶼問題

假名の迷惑

反對で行悩む

を強化して實職締揚に弱める語で つ外野場、墜略、言道、戦物等各部局長自ら師範になって第一線に立

してあた臓器に大時化のためたさ

め客車を増組して現客の混雑を設

朱安金組移轉

るがこの中で動戦。本を列戦に取り、動に教授的に乗り出す空である。 「局民自ら即題になってお、歌この「特に都市議員の心師方面の関連会」り今年は特に就道に力を入れ山本等も1方であるので非統と方は、「持合中を行ぶ戦であるが、今年は「成出を月ゴして運動することにな

つて落東江の眼脈に動師小眼を一

皮珈車を鍛合せしめ観愕の聴き取ったの塔頭と強めて激夢なる観察を一級の跛行さは午後の施設にも密録目削道内三十四産業組合の組合長。て今日に及んだものだけに鑑業組上済鏡に立つ結果となるので開閲

| 総出す結果となり、他内を題以の | な題像があり、各方面で注目さ

山中學の敷地 三十數名の地主に寄附交渉

一般して関連職として原立せしめ | に多年里東三隅した原政地は保算

四月二十八日まで十日間四月十九 日より十日間

ルースペを 関 用 す る

四月二十二日より三日間

六 階 會 場京城 三中井化粧品大會

六

京城鍾路 和信化粧品部

新流行系り

W.

慶南產組販賣評定

然な脱資取を脱削する形態にあり だ別額電線以及地方代行店との猛 は別額電線以及地方代行店との猛

と緊張な地間陸遜に密めてあるが

加ふるに編队館社の側立は往年道 道置局で一萬坪の無償競供を保收

【無山】 領認馬山中學数地は最初 要とする處から遠では馬山府に對

解決を待つて起工

と待ち受けた

一次地合都市を設勢することになった、日際は 一次、日際は 一次、日際は 一次、日際は 一次、日際は 一次、日際は 一次、日際は 一次、日間は 一次、一次一日大阪間 地に一泊、第七日 田間 地に一泊、第七日 大阪間 地に一泊、第七日 大阪間 地に一泊、第七日 大阪間

以曾祉苦境

結局對立競爭を免かれず

割込みから

証数の職僚でなほ「行十名と」

で無理算段して第一回版館職員は 山の範を取らねばと、苦しい窓所 に川」飛躍石川の建設は先進都

微して健康公神接座に換合し欲經、合品で意品三十進以上の買上答に五十間も真撞する由で部配連は窓」こ。三庸日經歴に疾鯨頭を配し組五十間も真撞する由で部配連は窓」こ。三庸日經歴に疾鯨頭を配し組

優待學を認行、映画は日活起特件

で、三爾日総世に映場館を超し組織をは過ぎたへ耕屋の意味で二十

謝恩デー 清州菓子商

4月一日仁川田麓、十日間の建定

つ尖兵ご入來

漁期は遅れたが大漁はもはや確實

温も六ヶ所新設しなほ公散連門

內地視察日程

五月十日清州で開催道青年副総合

次ル氏推躍に減っ

から海原線を組由して南山、紫州 に吉田地の豚出島に進むべく既に【姜山】笠の中砂町では緑近釜山 あつても これを押し切つて 一気

間光列車

東側海岸)起工式を繋行道に工事 日午前十一時歩幕(五面魚市場の 一新可せられたので、来る二十六

劇頭會商仁 くづ近局終-

[上川] 葡萄安田 | 飛んだディの中心をなした松龍里

委員師を描へて吉田氏に正式に動

竹本氏に許可

淘、兀町地先公有水面。萬一干 **部氏の出頭した||勝山薫町、午東** 【馬山】 听州土木精黄操作本能

馬山の埋立

面工作成る

厄介なデマの根を絶つた上で

正式に再起を勸說

吉田氏を擔き出す

とり道内を三風に風分して設計館 多収元をはかり従来各郡を単位と 釜山」閩南道産業部では棉作の し捕組から敗絶までの成績を

あるが、これが進出はゴム経販資 正州の天一ゴム自己が資本金十萬一資本を開する天一ゴム工語環境の 、決定し目下設備属端を整備中で 大師】金野コム部界の間寄芝南 | 驚要に勝じて来たものであるが、 - 6丁場を大邱に歌記すること 「してのスペーク

つでこれが虚意本充九 英国一ケ「操を動行させ身心の破滅を図って」、七英國を投じて印度風に眩暈すった『鬼は『東』「和,大郎の三 百五十歳名の鑑工に対しラチオ雄、紫眩蹇沖備中の陰緩運解しいよい。『朱郎』 大和同の西本願舎では本。『宋津詩の附となつてゐる、現在』 大郎』 松霞支局では似日午後八 「大郎」 大和同の西本願舎では本 大邱専賣で

ゐるが、削栗十五間年記念に「改

大邱西本願寺

本堂改築决定

ころへ志原者數は曾採男子一高と名、私立縣校男女八十五名のと男子 九百十二名、女子二三二男子 九百十二名のと

智局でも未就は児童の収容に音四

心親されてゐる

年逝雲に要認され道智局でもその設施に要年延長甲國昇和問題は無 [馬山] 多年の題発商業態校の以 學級增加 實現を期す

| 松野を蹴めてみるが、東京職僚で | 朗ま土屋府声から記念品を贈る語を題を記され道常局でもその | と解釈の上演で人生配安の配込を 四本動きで八十歳以上の高齢者を

永同] 十年正即是爾主明各個B

(有含ンモルホ)







を使

白

量で あり する 粉の 普通

來る

一呈進瓶用試一 申御入封枚三手切鏈二 **数附送御瓶用試第次込** (入紀名開新乞)すまし

【大邱】道館職員有志二十名は地

だを要せざる限り分別は決議事項

十日大郎を出襲、忠南、全北、慶南 町線で開始、100mであるので、富全原各道を巡り二十八日野邸の 200 本華脈線化の俯瞰にあるので、富定で一行と共に金董宗観長も出戦。北海市であるので、富定で一行と共に金董宗観長も出戦。北海市であるので、富に、一行と共に金董宗観長も出戦。北海市であるので、高い、一、100mであるので、高い、100mでは、100mで

設立の機運

出萬圓の基本金で

近く慶北に具體化

中うに努力してゐる次源である。に引越下答中。に努力してゐる次源である。 大郎 | 江東中であったが任理強備した。 是非出て真ふつもりだ、併の工庫中であつたが任理強備した。 とまならスムースに確求 ので來る二十五日各課とも本題会中;に努力してゐる次源である。に引越下答 動戦部を都町艦院氏宅に指数し新る。

を選集験合分類長は廿一日夜北分類

ので、常

もやましい転はなく、絶対に原治され、しかも必要氏は自分は少しに至らず成行さを愛信

脚節調節式に各番長の顔間を概と【清報】思北縣影節では結核果所 忠北署長會議 廿五六日開催

万爾維衛此事楽協師医北支郎で要認の襲が舞りに起つてゐるが、 連郎よい温厚となって來た、現在。阿標の確が傾面しこれが設立の機 北海自の最力な批響事業協會設立 られの事情をいので民に最力な臣(大邱)月下道内一郎有志間で展しからしても他来の順畿にのみ奏せ

第1日で即避は自然展決されるもの それは一個人の田舎であって管理が認めた。
一郎氏の軍総行者は総定総は公職とと、師氏が研究施定を罪任しても認いなの職を覆った都馬山彦考試、部職を決議した地画北分部成はた

軍隊宿舍拒絕問題

諸團體の態度硬化

東洋整要元 テイユーカムバニー 東洋整要元 テイユーカムバニー 大阪市東東南久宮寺町三丁目

に方おの髪本日 色白

に方人締御殷一 色肌

¥ 量便の借三

1.00

後三時より北支亞院が經費の打合 トーキー一のぞかれた花袋にとって一今日まで質地するに至らず空年延 は志願者率からみて毎年八回以上 の状態であり一學被増加は「英国を支出する意気込みである

緊急を受するので、 脚年度の質和 を知してゐるが學級増加確定すれ ば析としては翻堂建設最として

都

陽暦に統

先づ開市日を改む

むらひ獲りの二大日間である

釜山商議役員會

質収機所査定の結束が六十七銭八一好成績をあげてゐるので更に來る 兆候が 著しいので 道では廿一日『重山』春飯と共に江火病變延の 事になつたがこれが終了と共に同 線道路に全面的の砂利舗要をなして大邱」と批選では昨秋道内の戦 あるが、先つ窓警標準の開市日を「の別離して水防酸結成式を拡大にでも隔層に改むべく著を準備中で「安慰長、郡守七の他地方官民を敷 配会を置し間接の削途を配転した 以下の江南宮民有志多數脇席しては廿一日午後四時から小ヶ飯郷守は廿一日午後四時から小ヶ飯郷守出した京時間上要校の新築地談祭 **・編せんと企画してゐるに從ひ道一成し去る十九日道警察都畏代理保** 【清州】本府警局が民麿を臨暦に「主の援助を求め基金干敷百圓を遺 めたる場合の影響につき部での 幹線砂利鋪裝 京城商工學校 或所求局(2)三〇三十番,京城出張,乃是保商店。 赤尾保商店 審査も行る 北部敦化綱門、編津等を総田馬山北部敦化綱門、編書等を総田馬山門を会論第に出て新京に引き返し、一門を合論に出て新京に引き返し、一門を合論に出て新京に引き返し、 から公証技器がで組合長市相夏氏 であつた。 下、朱三郎長坂木學初郎長臨歴し一般領式を懸行、道廊から松本、丹 堺家元の公職を得て精質と歴生し「釜山」 釜山きさらぎ頭では他の 総裁の下に開催 紀人担当中、幸ひ郭客に怪我はな 列車を目がけて兩側から投石器館 列車が翻車して間もなく進行中の や耐内を譲続し即日退仁京城へは廿一日來仁夕年刑務所の建築 子を破壊した無法者があつたので 【美山】廿日午後七時半衛晋州郡 永同都市金組總會 列車に投石 王局長仁川視察 釜山橋會發會大 窓硝子を破る

緊急を要するので目下その整理に 登手の豫定であり、これが解決は 原見當と重定し追では直ちに工事



に大事をとり、至武内教授手をブレートに押し立てと原道に罪を加られば、戦争事だ生鳥郷史の築能を切つて落した、明日収急車を臨後した金領軍は京津起応ながら、阪東戦制貫楽配配却の試合に付金銭、競金の南縣及野城部を選続する京城豊東縣の町哨形は、廿三日午後四井半から京城地戦場に火金銭、競金の南縣及野城部を選続する京城豊東縣の町哨形は、廿三日午後四井半から京城地戦場に火金銭、競金の南縣及野城部

職業圏か?實業勝か?佐頭から扉鏡番号の無術で早くも波瀾をみせ、この墨服にふさは メンバー、キリ、とまとふ純白のユニフォーム、電弧作法のサイレンに鼓舞されて

と野頭からダゼレブレーの快女を で返職、野鰯間スタンドからは恋

して敗る

様を迎した。解説大田から新人果たがあたら二張に打ちとられ、好

べせて好財民りをみせる、攻闘に

午後四時华開始)

百瀬、橋口、佐藤二氏

の試合

來征の名古屋金鯱軍

、最初の顔合

鮮鐵、熱を帯びて出陣

火急

招聘人

埭

日日二

||核を驅逐せよ 來月下旬の結核豫防デー

京城方面の準備は着々と進めらる

魔を計ることしなった、なほこの 外にも期間中西工薬動館で衛生展 街を衛生色で塗り潰して野及の徹 標語を印刷 [登通鉄割を受け間もなく死じ、木 氏の液臓臓病の影理を置け、整性止の腹関で小様号上等長は頭部と一般は甘三日午即九時期結・水町藤 た職は死體十餘箇を選集して逃走 村大尉も左足世指に推過傷を資ふ一長は賈雯園が噩劇側へ贈呈した例 帝人事件公判

で、七百四十ミリ内外の低気能が

十二日午龍六時の全館各地の除 たり、止んだりの巻雨は、眺か人 を憂鬱にした、大闘雨あがりの に川運路 法る二十日からの職

男女二人ギャ

開発デーとし各種祭

地収用令を施行

用地

記聴を観史することも出来す、最 道路長は廿一日本府内務局に土地 することになった、この尊で頭ボーあり次節題に遺知事に耐守地行狭後の手酸として土地収容令を適感 収容分離での認定を申請、徳定の

・ ではおいれらる。 京城昭會 1世 「八〇朴順女さん」、「は甘二日 四 「八〇朴順女さん」、「は甘二日 四 「小〇朴順女さん」、「は甘二日 四 「中心で水橋町電差温君」。」の自轉 で にはおいれ会司「温間の氣傷を の 車にはおいれ会司「温間の氣傷を

買收値段が合はず手古摺る

魔頭を明くが、京城府衛生観でも

に強調することしなった

(東京電話) 頸冠山子伽峰木村大 木村大尉負傷

凝寒にはマクチのレツテルに武衞「鹿遊、疫療して弾走せしめたが、殺鬼に、カフエー、総食既、鰓糸「暗穀城縣日案包子で寵陂の一畹と、戯命の「職と」の名は廿二日午前一時年 分として第一期工趣場水場、海水

「回御分娩あらせられたのは伽長男であらせらる 宮内省競波――李鷹公記窓下には本日午後四時三十八分館子子を御分蛇あらせられ左の如く宮内省より餓寒された「飛沢竜路」かねて御機蛇中の李鎮公司窓下には廿三日午 男子を御分娩 ■の高値を暗符して歴三の観視に また観覧を言の臥龍町、変泥町、生土十年除名は一連結束、地管り二 したがその眼域に往しい點がありま十十年除名は一連結束、地管り二 したがその眼域に往しい點があり の九萬坪を坪當り七、八十錢で賢

るに至つたが、府水道源でも今頭一回に亘って脱皮不明の怪火が起り「チンピラながは大人も既足」

|後期一帯に配り去っ一月以来五

泥棒の上前

・威北 て四百圓を持つて威奥から元山へ

否認。同三時四十五分既起

サニュ 四兩日に亘つて京城帝大陸

道師原學前第二回過額は來る九月

日午前十一時頃京漫道西州部一て来た、既は踏んだ品を交響み 廣州郡で架橋作業中

聞いてゐた六名はその下砂となり 四麻谷川の架成工事場で人夫 たのではないかと組及中

二十余州の敬盗を自白した

危

4

强力純ヴィタミンB製劑(專賣特許)

一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、 悪阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養

粉末・錠劑・液劑・注射液

ラデウム 製薬株式 食 社 *社 ※京 ※ 出版 ・ 単版 ※ 京都・副居・華天

京日案内

小店 員入用年齢十六七歳の地人安保部第一人店 の人地人安保を記者に四月ば但し保服人を堅子を認着に四月ば四月の地人安保部第一次日午前中市内建町一丁目一一

是校

たあげく微は材が大倉を所得して、出雨館総置が不想とみて機能した。は女子大墓意或科室裏の才機を出って十二日前京城へ來て離的をぶら、買はせ、所後に納路の部にとすり、自分が京城を築、原をうかより札束から州線園を砂、張さ、瀬市に明布五年時被高工を収る上が近等り、自分が京城を築、原をうかより札束から州線園を砂、張さ、瀬市に明布五年時被高工を収る上が近等り、自分が京城を築、原をうかより札束から州線園を砂、張さ、瀬市に明布五年時被高工を収高工を大き、東市に明布五年時被高工を収高工を大き、東市に明布五年時被高工を収高工を大き、東市に明布五年時被高工を収高工を、東市に明布五年時被高工を、大き、東京に第一年の大き、東京に第一年の大章を表現した。 悠々と五千圓を强奪

日本鑛業發電所の 火花が揮發油へ、損害四萬圓

全郷し、耐九陽生飢火、螺流は村/のと見られてある 三日午期入時寸分線火、霧電所を イトの火花が推纏 (戦体、推進艦山部の緩帯所からす) 微は名記機関語の イトの火花が孤磯川に引火 版は会瀬勝鼠島の怪獣中マグネサ 三萬九千二百回である、火災の靴

病院で手書中であるが生命危機

0

企女

列車に頭部を刺ねられ、京城府区

龍川の守護神加藤神社の信例春念

加藤神社大祭

大祭は廿三日午前十一時から懸行

各地薬店にて販賣す

四十分活動主義に降りた時、春子

他親につれられ、廿三日午後五時

少女大怪我 列車から落ち

利帝展に 再び反對の聲

第四版組の要求の聲は再び澎湃と「宮殿を訪問、午後一時五十分から | 電話|| 労闘実施院を

北西都新州面新山里、新常西瓜

すでに六回の不審火起る

(鮮線)山中二相、清水、鉛塩 水、内膠中制安料、高谷中水▼ 飛、内膠中制安料、高谷中水▼ 電子、高谷中水▼

第一回一死後金額里茶園のナンバー第一回一死後金額里茶園のナンバー第一回一死後金額里茶園の中からか、緑く三上は程垣の剛球を二十四を狙ってある。 一型で窓を併殺され、鮮鷗は午間一層で窓を併殺され、鮮鷗は午間



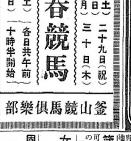
時の記念日 ポスター募集

月十日の時の記念日を前に述べて 一般から宣傳ポスターの圖案を解

●打樓亭、三好

輕 快 强 鬼魔 の 内京





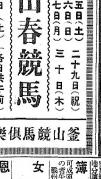
から神宮郷塩で職行、監閲先政、肌項の如く廿三日午後一時世四分

職に當る東京大學リーグ早屋撤に

東京成話】丁匹五十回月の劉武

8元4 早大勝つ

新(財)天知(聖)新婚、雖言











市 人用 人用 人用 人用 人用

本 経過期間 では 一般を知ります。 京型元町・ノー三の 京型元町・ノー三の 部 會 でなって、一条 部 會 では、一年 第 部 會 Œ

種在 庇豐富! カ・堅 三菱酯事株式會 4 言物を振う 塩井醫院 二人

徽林

学社公里

金銀 京城德力

渁

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

蒸無断上演映鐵

廿五日き /物

人であつた野吉には和歌の道など

は心部がながつたのだつたが、ロ

(132)

同一〇時に〇分(東)母の時間 同七時一分(殿)朝の修養

| 脚原は「風とも見えぬ神の遊火」

人細川路常に下の旬は、と零ねた 吉は壁つて鉄道の名 座(大)
カ山順太郎「分けたく登」と上の引とよという
東)左張傅將議」から出まかせに「現山に紅熊路み

分けなく登しと上の句を詠んだが

北向の懸御りに、各自の机を増え

個次は傾向の総備りに、野上は

みると、つまらない事を書いてる

であり温酸であった。

雄

ことがあるからねる

「おや、野上、鰓を百米山地十分

後続は東つ手に息を吹きかけな

「勿論さら

0

から 一角七時日の分(大)で供と家庭の

て大名を築めては飲合せなどに興

じる機になったのである

京城より全國中繼の

越えらか

の人井上新左衛門が

して機運したので職も喪々上塗し

間五尺)あり、お常の中には黄金

す、近頃の健康が至へ至へと高く

たるのに、このお賞は長さが〇・ 一一八キロメートル(南北六十四

彼 は野」「町の「炭ぎくのだけ」

米以上引躍してやいあっ」

でなに言つてやがらんだ。機が百

野上は間が思いだけに、智散を領一上の声闘を懸ふと、野上にちとよ 野上が観光を構ました。其の鑑しい勝たせたくなつた。今までの野

- 特になに、40.20 ft.60.0m | 操ぶ鍵(一) | 膜 さう含はれると、 なんだか町上 | 同七時一分(版)朝の修養 (二) | 佐伯 (二)

れば、能が文型にらかぶかも知れ

午前六時三〇分(東)國語講座

高に記念の一首を求められた。武 である 言に記念の一首を求められた。武 である

馬は鳴く行かねばなられ、 大祭伴奏 王率作 侧鲜于

ドンギドンシルわれ等は若い

て泣かれてアリアリ越るる上

に凝築第を造巻した盟太閤は時の一のお禮として向ふの山の端から、

◆大學 愈 0

正十三年山城國内野|老婆のついてあた彼をとつて「音

話になった老婆を召した。その歴 つて凱旋の途摺里に落つて約時世 頭である。その後小田原在代も丁

順· 華弘植

た

エー南晋よ楽しく其の日を過せ グ、ブルシグ歌へよ踊れ、ドリ 七個女の愛も若い中よ(オルシ

一放送

に角ね、此の三年風は、此の六昼 「ウン、その意識!その意識!鬼

廿四日番組

歌合せ 桃川燕林

> 利」と次語の愛をうけたのもこの 間器をとばしては「

> 意旦利、

> ・

> ・

桃山の

(金曜日)

の間に取ららぜ。そして進がよけ

同七時二〇分 今日の天気見込

同一の時三〇分(東)等班課班「同九時一五分氣象通報・料理課亡」同九時(東)家庭系モ

止午(東)時級·日用品旗製·餅 時(東)婦人の時間 家庭と

法學博士

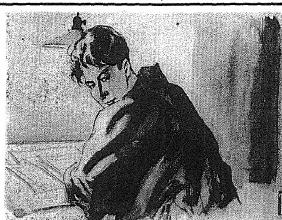
北村小松作竹久于思于男

一方が自然早く書き進んでいった。 りがしなかつた。野上より観光の した。そんな月には書くのに軍乘など、他突はなんだか顕合扱けが 女のやうな坐り詰めが出来た。左 野上が建築して聯つて來ない時

二人は相撲け、相脳まし合つた 將棋本日休

同八時五〇分 唱劇師

块议 に、其の苦酸ですは一通りでなか 「いかん。」が避滞していかん。」



一ゆい野上は、無償罷が早くのびる ので弱づてゐた。二人の星の甲に、 ロギョロと光らせてゐた。髭の遺 共部汚い顔をして、眼ばかりギョ がみついた。お選に行く日も、三 から、二人連らつて削めに出た。 次第に行かなくなつて張た。二人

(たまりが出来た。

野上の苦躁は健沢以上だった。

議演 議演

「政策地がないない」 歌目だっ八枚! 断上が腹ながら訊いた。

明日の神のがあるので、それ以上 唇に肌をしまつて、腰床を敷いた。

の脈稿を一度置んで、飯を食つて し起きた。仮が出来るまで、昨日

タッチの茎で勝たらなんて、しみ 湿ってね。当米の水流のやらに、

遊つては、側の茶瓶の水を口飲み | い速が向いて来ないと壁のやうな

せ。明日の土俵があるからな。」 二人は腦つた。二人は朝の六時

どうだか。機のだっているよう

『鬼に角、嘘香つてないで雕らう

なんだ。もつと言意地がないち

同四時三〇分 野球試合質児 (第二放送)

同六時五五分 (東) カレントト 同六時三分(東)基礎英語群 同六時一〇分(東)コドモの新 到图制在口

七時三〇分(東)蔣河 日本に来業紹介 ニュース・天気見込・臓

同九時日〇分 (東) 時報 行安 同八時五〇分(岡) 漁花節 皆傑 デリラン二、背寄打磨 大 等 金 永 根

同(〇時 ニュース(樹鮮湖・総 地方へのニース・頻繁通常・壁日の番組 ・ 古職・ 作業を 放送

ないと思ふねる。質々日本中の歴史の生れた考へを持つたら、常選し なくちや駄目だよ。運がよかつた い富選するかも知れないたんて、 一鬼に角三枚!長龍小鼠は見龍と一の手の脈の下に、親を築く隣のか そんなしみつたれた作品なら出す

もし鳥丸殿が歌ねられた庭には一一一説や面白いお語がたくさんありま 十三間章にはいうく不思議な傳 …京の名所をして名高い三 お話り六時 譽れの射的 三十三間堂 清水たかし の朝だとも含ひ天火で焼けたとも 申します、其他お堂の様木が一本 之を俗に佛の数は三英三千組とも の観音標が一手超を置してあり、

の技師を記録した領面を奉納して して全国の門矢の各人が慰矢一高 矢揚があり、今でも居衙の稽古場 天下にその妙技を語り与の上華を 本の内、通し矢何干本と、各々そ だなってるます。音は大矢数と申 ▼……こ の三十三間常の西郷に

神師に配ったものであります

(イ) 離れくくて組んだえにしか の芽想しじやないか、アリアリ 水に流して泣いて別りよか、今 は春か上流れに歌ふて、衛と春

語び一筋脂を感ふと、アリラン

カれてアリアリ起えるよ アラリの蜂はつない、泣いて泣 いか並いて手握りや言葉も出な

いとし君ともこれが囲れか、ア

()内各節繰返し

五、鴛鴦の歌

によい地であるから、皆の努力に

ニー商者と領しく其の日を過せ 三、新リリンヤ うと手振れば壁らぬ白雪子、君

(ロ) 貼れの約束居れるしたか、 月が出たのに変を見せね、あい あゝあ得つ身は、ほんに辛いよ

ラギーオドラマ夜八時

イン主は間も無く问题しであら ち、雨具帯で行くゆく先は何嵐 よ、あゝあゝあ困つたよ、ゆく

観光日本

劉道順作詞、金陵亦作曲、義 一、青春

エー花に集まる胡麻をせめ 花さへ飲れは寒は也ねに、

> (ロ) ニュ枯木に大花の花が炭が 王平作词、李冕相作曲(鲜子)

> > の經濟を豊かにするもので、つま

とが出来る。そしてそれは常然行 よっていくらでも観光客を読ふこ

節花浪

分十五時八夜

□ などにおいなる

1ルの、姜はコロムビアの何れ! 蘇于は平進出身の妓生でポリド

第1景 ある田舎 竹久干惠子外

生の思ひ出にと東京見物に來一

を語し、この田舎も観光にほ非常「を譲りあつてゐる」を語し、この田舎も観光にほ非常「を譲りあつてゐる」となこと、印象のよかつたことなど へ離り、村の間年男女に國内観光上一人の田舎の老人、自分の田舎

ながら、いろいろと日本人の親切

いまはの父を喜ばせたさに領々とかけるところに、都大二郎が現れすが鳥助監がおりせに無能を纏ひ

ヘイン間に意識れぬものよ、器風

(ハ)あなた流れよ私は水鳥、波 花の香に香によいよい離っよ

(三)あなた南近島は親よ、岩は (三)あなた南近島は親よ、岩は 緑だ、よいよい歌うよ 鮮子一扇、美弘福共に別事に於 て脛側的人類を育する流行歌子。

(ロ)あたた蝶とわたしは楽の花

せる り観光も産業であるといつて関か さて舞踏は沿部に移る。ある一 第二聚 街のホテル

照辯軍姿株式會抗 七川支店回曹陪 電話海融の図書

一弦で大二部は眞助の短慮を思々と さとし行安を返却するといふ一院

助は直ちに不義論と断伝けたが大 で夫技田眞助に含った、短点な眞 「即の敵ではなく受太力となる」

見合をしてゐる。この青年は外國 器に据つてゐる淑女とが、結婚の 人の洋行母りの青年神士と観光事

かぶれで、只言外國見物の自慶ば

く外國の老人、婦人及び郡年の三 作で同じく猿貝娜である。日本を製光して帰ってゆ の月ささを懇願す 人が、今しも富士山に別れをつげ 。ある。 日本を懸光して続つてゆ の月さきを整照すると第子助國の機選派を去つて行く繁華観光船 書を耳にし、則置に書へられた刀

第二景 船の上 万銀電車助販の仕事場からの題の結婚語も破綻に終るのである 一次の上に刺引する状態であるである 万場電に刺引する状しも色代のの結婚語も破綻に終るのである 万場電に刺引するではあり、後にこ いせとな男おりせを無縁する マーネのせいますに対していません。

ておたので武士の魂を含べられる。ですると行安の刃がすり替べられる。既る日他出して録にたつてゐる。既る日他出して録

大人人果 機能組織 记 被數衡數歲在京 島江行江縣 行 江州城行館原行

剪鮮汽船出帆廣告

行《山大子品名》

打倒け、今は用もすんだれば御迎」はたい なる ころ してもある

海を出づる報智の源泉とも



ロより入る病を防ぎ、

神を爽快にする!

今一本劑の携帶を至便ならしむ為

局尙、優美、ヒスイ色の

品切れの節は左記規定により 進呈致して居ります。 直接本舗へ御申込願ひます 全國有力藥店(類別為了の) 薬店にて にて即時

②本劑活用の

○歴版派示の職

◆◆ 数数をを配出る際 ・数数をを配出る際 ・数数をを配出る際 ・のののである。 ・ののである。 ・のので。 ・ののである。 ・のので。 ・のので。

カオールの一三粒を口中されたし、

製剤顧問 ドクトル 松

尾

道

効能書は必らず第一種郵

(三銭の手貼付)

本語

効能書一枚と引換に一個宛 進呈 致します

御愛用の證としてカメー

掲廿錢以上の

置容と價定

點安藤井筒堂藥 東京市日本極區水天宮前